

第1分科会（幼保）

テーマ：乳幼児の発達過程と『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』－小学校教育に向けて－

13:30	①テーマ及び研究の趣旨説明（15分） ②発表Ⅰ（50分） 「3歳未満児該当部分の発表」 ③講評・見解（15分） 現役保育者（本学OG、幼稚園・保育園の園長先生）からの講評
15:00	④発表Ⅱ（50分） 「3歳以上児該当部分の発表」 ⑤講評・見解（10分） 他大学の先生方（幼児教育・保育学の研究者）からの講評

第2分科会（小学A）

テーマ：教科・教科外の指導、学級経営など

・マルチレベルアプローチ型（MLA）の協同学習を用いた言語活動の促進	三浦 拓 先生 (石巻市立飯野川小学校)
・デジタル機器を活用した教育実践 ～コロナ禍における主体的・協働的な学びの充実を目指して～	支倉 絵璃 先生 (東京都中央区立久松小学校)
・自分の未来を切り開く ～在外教育施設での実践～	馬場 ひとみ 先生 (利府町立利府小学校)

話題提供のあと、話し合い（質疑応答）

第3分科会（小学B）

テーマ：教科・教科外の指導、学級経営など

・子供が安心して過ごせる学級づくり	伊藤 里絵 先生 (石巻市立中里小学校)
・コロナ禍における卒業生担任の1年間の歩み	角川 菜緒 先生 (角田市立西根小学校)
・ICT端末の効果的な活用法 ～どの学校でも導入可能に～	鈴木 智裕 先生 (仙台市立燕沢小学校)
・自己有用感の育成・向上 ～「メリハリ」・「全力」をモットーに～	佐藤 忠郎 先生 (栃木県小山市立若木小学校)

話題提供のあと、話し合い（質疑応答）

第4分科会（中等）

テーマ：コロナ禍、そしてこれからの公民教育

13:30～講 話 「『深い学び』を実現する公民的分野の授業－社会的事象に対する素朴な理解を踏まえて」 《 講師 》 栗原 久 先生 （東洋大学文学部教育学科教授）	
14:50～ ・単元を貫く課題を設定した授業実践 ～第3学年公民分野「生産と労働」～	木下 貴裕 先生 (埼玉県寄居町立寄居中学校)
15:20～ ・ICTを活用して、どのように学びを確保していくか	上田 友哉 先生 (神奈川県立大和南高等学校)

話題提供のあと、話し合い（質疑応答）

第5分科会（特別支援）

テーマ：一人一人の学びの充実をめざして～コロナ禍における特別支援教育の実践～

講 話 「特別支援教育を志すみなさんに期待すること～コロナ禍の特別支援学校での実践の紹介を含めて～」 《 講師 》 三浦 由美 先生 （宮城県立石巻支援学校長）	
・「特別支援学校小学部での取り組み －各教科等を合わせた指導について－」	佐藤 奈々 先生 (宮城県立角田支援学校)
・「特別支援学校に在籍する児童の行動理解と支援 －行動の機能に着目したアプローチ－」	網塚 ゆり夏 先生 (宮城県立気仙沼支援学校)

話題提供のあと、話し合い（質疑応答）